

送電線付近で農作業をされる皆さんへ！

送電線危険範囲図()の示す範囲)

送電線の特徴

送電線は電圧が高いため

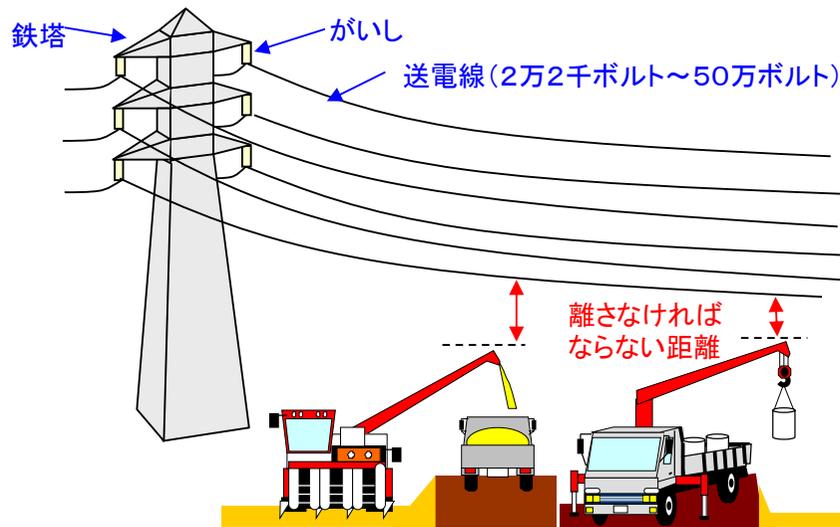
- ・接触しなくても接近しただけで事故になります。
- ・電線にカバーを取付け防護することが出来ません。

送電線の近くで大型農業機械等を使用し作業される時はご注意ください。

大型農業機械等が送電線に接近又は接触すると人身災害(感電災害)につながるとともに、工場・家庭の停電により社会的に大きな影響を与えます。送電線の近くで大型農業機械・ユニック車等を使用するときは離さなければならない距離を確保し作業して下さい。

近づくときは最寄の関西電力送配電までご連絡下さい。

【1】 農作業時送電線位置等の確認を行って下さい。

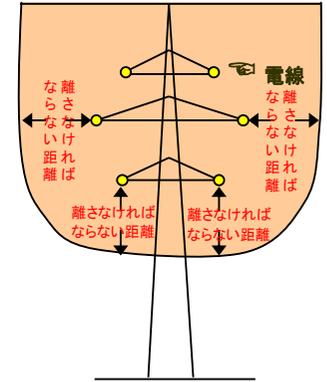


【2】 必要離隔距離を確保し作業を行って下さい。

送電線は電圧により離さなければならない距離が違います。

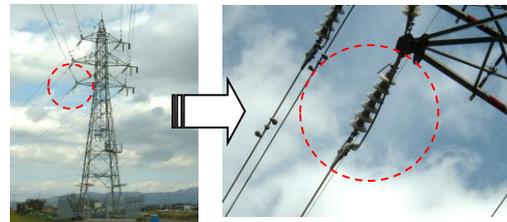
送電電圧	がいし個数		* 離さなければならない距離
	鉄塔	電柱	
2万2千、3万3千ボルト	3～4個	1個	3m
7万7千ボルト	5～9個		4m
15万4千ボルト	7～21個		5m
27万5千ボルト	16～25個		7m
50万ボルト	20～41個		11m

*電力会社推奨の離隔距離



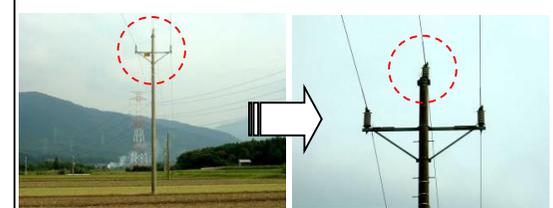
がいし個数による電圧の確認方法(例1・2)

〔例1:鉄塔〕



がいしは6個であり電圧は「7万7千ボルト」
離さなければならない距離は「4m」となります。

〔例2:電柱(木柱やコンクリート柱)〕



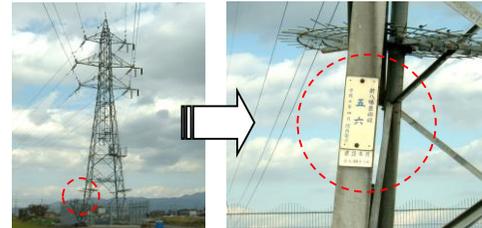
がいしは1個であり電圧は「2万2千、3万3千ボルト」
離さなければならない距離は「3m」となります。

【3】 電圧・必要離隔距離がわからないときは???

送電線路名・番号の確認をしてお電話下さい。

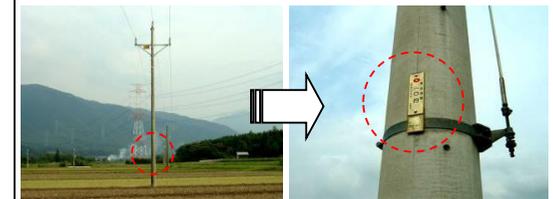
送電線路名・番号の確認方法(例1・2)

〔例1:鉄塔〕



鉄塔脚下部(1脚/4脚中)に付いている
線路名・番号札を確認して下さい。

〔例2:電柱(木柱やコンクリート柱)〕



木柱・コンクリート柱の下部に付いている
線路名・番号札を確認して下さい。

- (1) 作業時は上空送電線の有無について確認して下さい。
- (2) 送電線がある場合は電圧の確認をして下さい。
(電圧の確認方法は【2】に示すとおりです)
- (3) 電線から離さなければならない距離以上確保して下さい。
(離さなければならない距離については【2】に示すとおりです)

その他不明な点がございましたら関西電力送配電株式会社

大津電力所 (送電) TEL 077-537-0551 (フリーダイヤル 0120-358-509)

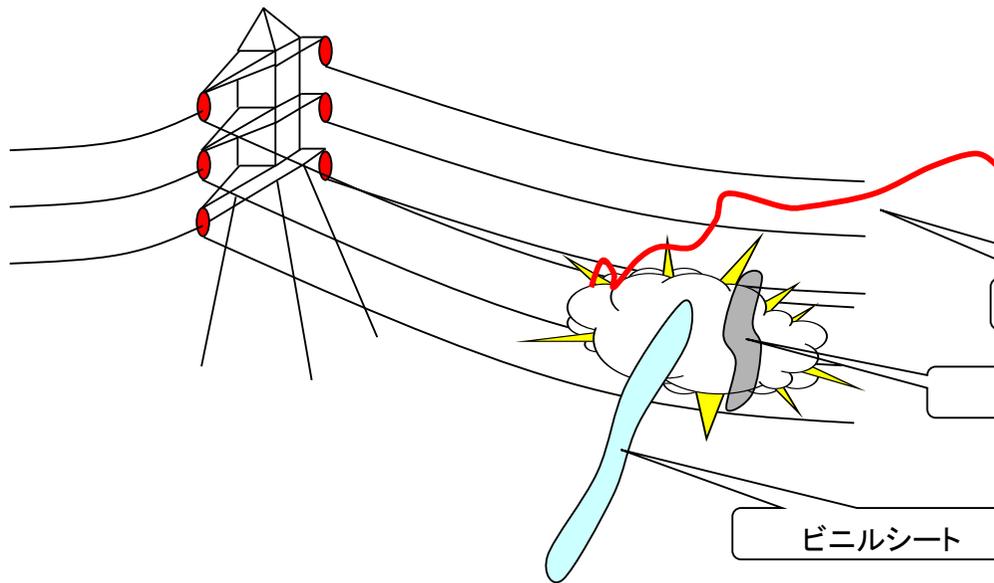
彦根電力所 (送電) TEL 0749-22-0496 (フリーダイヤル 0120-256-585)

までお問合せ下さい！！

強風にご注意を！

被覆材(ビニルシート・防雀テープ)が強風で飛ばされ送電線に引っかかる恐れがあります

万が一、送電線に引っかかった場合、絶対に触らないで下さい。**感電の恐れがあります**



<注意> 風で飛ばないようにして下さい。

送電線に引っかかった場合、電気事故になります。
電気を使用されているお客さまに多大なご迷惑が掛かる事があります。
ビニールや防雀テープは飛ばないように**しっかり固定**をお願いします。

絶対触らないでね！

電気を止めてから取り除きます

こんな時には
関西電力送配電まで
お電話をお願いします

関西電力送配電株式会社

大津電力所 (送電) TEL077-537-0551 (フリーダイヤル0120-358-509)
彦根電力所 (送電) TEL0749-22-0496 (フリーダイヤル0120-256-585)